

## 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月9日

## 【認知症対応型共同生活介護用】

## 【評価実施概要】

事業所番号	2775002542
法人名	社会福祉法人 由寿会
事業所名	グループホーム香寿庵
所在地	東大阪市稲田新町1-10-1 (電話) 06-6748-8008

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成21年2月13日

## 【情報提供票より】(平成20年12月25日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成14年4月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤4人, 非常勤5人, 常勤換算	8人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	2階～	2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	32,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	160円	昼食	310円
	夕食	320円	おやつ	100円
	または1日当たり		890円	

## (4) 利用者の概要(平成20年12月25日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 84歳	最低	66歳	最高	95歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	アーバンケア稲田診療所、森田歯科医院、枚岡病院、小阪病院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営するグループホームで、特養とデイサービスセンター、診療所等が併設されています。利用者一人ひとりに「香寿庵」を我が家と思ってもらえる、ここに居ると安心と感じてもらえるホームを目指しています。その人らしい、あたりまえの生活が送れ、家族も安心して遊びに来てもらえる家づくりをしています。隣接している公園の散歩やホームの前は昔懐かしい商店街があり、毎日の食材などの買い出しや外食に出かけ、時には出前の注文をすることもあります。併設施設が開く居酒屋『庵』に利用者も出向き、地域住民も参加し交流しています。センター方式の焦点情報シートを活用し、職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に添うよう支援し、やさしい雰囲気です。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された事項についてはケアワーカー会議で検討し、改善に向けて取り組んでいます。運営推進会議の開催回数、新人職員研修計画、入浴回数等は改善されています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価についてはケアワーカー会議で意見を話し合い、現在取り組んでいること、サービス改善に向けて今後取り組んでいくことなどを話し合って作成しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は利用者や家族の代表、地域包括支援センター職員、民生委員、老人クラブ会長などの参加のもと、今年は2ヶ月に一回開催しています。会議ではホームでの利用者の生活ぶりや生活する上での色々なリスクを伝え、意見交換を行い、サービスの向上に活かしています。行事の実施状況や予定についても報告しています。情報をいただき、地域の歌声喫茶に出向くようになりました。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	運営推進会議には家族の代表に出席してもらい外部者との意見交換の場を設けています。家族との面会時には利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えていきます。日々の面会時だけでなく、家族には定期的に開催するサービス担当者会議に参加してもらい要望、不満、悩みを伺い相談を受けています。玄関脇には意見箱の設置もしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目④	隣接する公園で行われる地域の盆踊りや祭りに参加します。法人主催の秋祭りに参加したり、ボランティアによる歌や踊り、大正琴の演奏会等を通じて地域の人々との交流を深めたりしています。併設特養で居酒屋『庵』が開店される日には、地元の方や利用者、家族も参加しています。食材の購入や外食で商店街との付き合いが生まれ、子ども会の廃品回収にも協力します。また高校生が実習に訪れることもあります。

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	“グループホーム「香寿庵」は、入居者にとっての「家」であり、各々が「生活し、暮らす主人公」である”との基本認識のもと、入居者一人ひとりが「香寿庵」において、その人らしい、あたりまえの生活が送れるよう、次のような暮らしの実現を目指します。 1) 健やかで、安らぎのある暮らし 2) ゆったりと時が過ごせる自由な暮らし 3) 自分らしさや誇りが保たれた暮らし 4) 生活のはりあいや喜びがある暮らし 5) 仲間と一緒に過ごす楽しさのある暮らし 6) 地域に開かれた地域とともにある暮らし 以上を運営目標として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民等と共に、安心してその人らしい生活が続けられるように支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し、「職員心得」や「法人の理念」と共にホーム内に掲示しています。毎月のケアワーカー会議で意見交換を行い、管理者と職員は理念を共有し、毎日の業務を通じて、介護サービスに反映させています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p><b>○地域とのつきあい</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている</p>	<p>隣接の公園で行われる地域の盆踊りや祭りに参加しています。また、法人主催の秋祭りには地域の人とともに参加し、併施設でのボランティアの歌や踊り、大正琴などの演奏会等で地域の人々との交流を深めています。併設の特養内で定期的に開店される居酒屋『庵』には地域の人と利用者が共に参加しています。食材の購入や外食で商店街との付き合いが生まれ、子ども会の廃品回収にも協力しています。その他、高校生が実習に訪れることもあります。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p><b>○評価の意義の理解と活用</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者、職員は評価の意義を理解しています。前回の外部評価結果で示された改善点についてはケアワーカー会議で検討し、改善に向けて取り組んでいます。運営推進会議の開催は2ヶ月ごとに開催されるようになり、新人職員の研修計画と利用者の入浴回数等は改善されています。今回の自己評価についてはケアワーカー会議等で意見を出し、現在取り組んでいること、サービスの改善に向けて今後取り組むことなどを話し合っ作成しています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の外部評価結果に基づいて検討を行い、2ヶ月に1回の運営推進会議を開催しています。会議には利用者代表、家族代表、地域包括支援センター職員、民生委員、老人クラブ会長、ホーム職員が参加しています。ホームでの利用者の生活ぶりや、生活する上での色々なリスクを伝え、意見交換を行い、サービス向上に活かしています。行事の実施状況や予定についても報告しています。議事録はありますが、運営推進会議の運営規定が作成されていません。	○	参加者名簿だけでなく、今後は運営推進会議の運営規定を作成することが求められます。参加者が欠席の場合は会議の報告を1ヶ月以内に行うことが望まれます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の助言を受け運営推進会議設置の概要について、重要事項説明書に記載しました。また、市が開催するグループホーム連絡会に参加し、意見交換をしてサービスの向上に取り組んでいます。今回受けた外部評価の結果報告を市に提出するときに、市の担当者との連携を図り、サービスの質の向上に取り組む予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員は担当制となっており、家族の面会時には利用者の様子や連絡事項を家族に報告し、希望などを聞いています。医療や安全に関する事柄は電話でその都度、家族に報告をしています。毎月発行の「ピーちゃん便り」では利用者の生活ぶりや行事内容、新任職員の紹介などを掲載し、利用者の写真とともに家族に送付しています。新任職員の紹介は担当の利用者家族にしていますが、さらに他の家族にも十分周知されるように、今後ホーム内にも『便り』と同様の紹介文を掲示されてはいかがでしょうか。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族の代表に出席してもらって、外部者との意見交換の場を設けています。日々の面会時だけでなく、家族には定期的開催するサービス担当者会議に参加してもらって要望、不満、悩みを聞き相談を受けています。玄関脇にはご意見箱も設置しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新人職員の研修は法人で計画を立てています。離職者に対する職員採用はすみやかに、中途採用者はOJT(On Job Training 職場実習・指導)により利用者への影響を最小限に抑える努力をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間研修計画を立てており「感染症」「食中毒」「認知症」「緊急時対応」等の研修を受けています。参加した複数の職員は報告書を作成し、会議で伝達しています。「看取りについて」は3月に研修予定です。大阪認知症高齢者グループホーム協議会の研修をはじめ、外部研修を受ける計画を立てています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会や市の事業者連絡会などで相互訪問研修についての企画を立てるなど、他ホームの職員との交流が深まり、刺激や学びを得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には家族と共にホームを見学していただいています。家族が職員から入居の説明を受けている間に、本人は他の利用者と一緒に過ごしてホームの雰囲気馴染んでいただきます。担当ケアマネジャーからも入居に至るまでの生活や介護サービスの利用状況など、情報を得ています。入居後は家族に面会の機会を多く作ってもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と常に一緒に過ごし、日々の関わりの中で「人生の先輩として、利用者から学ぶ」ことを大切にしています。「レクリエーション時に昔の歌を習う」「物を大切にする」「昔の暦で二十四節に分けられた季節の移り変わり」などを学び、ボードに記しています。献立を立ててもらい一緒に食材を買いに行く、調理の工夫を学ぶなど支えあう関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者にとって安心した生活を継続していただくために、センター方式の焦点情報シートを活用し、居室担当者を中心に「できること」「できないこと」「わかること」「わからないこと」を本人や家族から聞き取っています。また利用者の思いや意向を把握し「私の願いや支援して欲しいこと」を記入して、職員間で共有しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	居室担当を決め利用者や家族との信頼関係を築き、センター方式によるアセスメントを行い利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握すると共に、家族を交えてサービス担当者会議を実施し、利用者と家族の意向、願いを反映した介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月毎に見直しを行っています。期間内でも状態に変化がある時はその都度見直しを行っています。介護計画の短期目標を記した「サービス実施表」を使って日々のモニタリングを行い、気づきをアセスメントに記録しています。月例のケアワーカー会議でモニタリングの結果を検討して、家族を交えたケアカンファレンスを行い、現状に即した介護計画の見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の都合がつかない場合の通院介助、外出への付き添い等、生活の継続が図れるよう支援しています。また、ホームに高校生をボランティアとして受け入れ、認知症を理解してもらうために利用者と交流を図り、ホームでの家庭的な安らぎのある暮らしの様子を体験する機会を設けています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科に関しては併設の診療所と連携しており、往診も受けることができます。利用者がそれぞれに専門医やかかりつけ医療機関で医療が受けられるよう希望を尊重した支援をしています。受診方法や結果の報告を共有し利用者、家族の希望に添った支援をしています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在はホームでのターミナルケアは導入していません。重度化したときや終末期には、併設の特養で対応するという法人としての方針があり、入居時に家族に伝えています。希望される方には入居時に特別養護老人ホームへの入居申込書を提出してもらっています。医師、職員、家族と共に話し合い意向を確認して支援する用意があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の心得を常に遵守し、利用者一人ひとりを尊敬し、誇りやプライバシーを損ねることのないように接しています。職員は入職時に「個人情報の取り扱いについて」法人と誓約書を取り交わしています。ケアワーカー会議等でも繰り返し伝え確認しています。ケースファイルなどは利用者や外部者の目に触れないような工夫が望まれます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムはパターンシートにより職員は共有しており、個別性を大切に、一人ひとりのペースに合わせた柔軟な対応をしています。朝の起床が遅い方はゆっくりと朝食を摂ってもらいます。毎朝、併設特養まで散歩をかねて職員の朝礼に同行したり、併設デイサービスのエアロバイクを使用したりして、リハビリを日課にしている方もいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設特養の献立を参考にし、利用者と相談して好みに応じた献立に変更したりします。食材と一緒に買い物したり、食材を洗ったり、食事準備、盛り付け、後片付け等に利用者も得意な分野で参加し楽しんでいます。職員も利用者と一緒に食事をしながら会話を楽しみ、なごやかな雰囲気を作っています。さりげなく介助の必要な方のサポートをしています。利用者一人ひとりの誕生日には本人の好みの献立にしたり、希望によっては出前を注文したりしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は基本的に週3回入浴できるよう支援しています。希望すれば毎日でも入浴することができます。入浴を好まれない方には誘導の方法を工夫しています。入浴チェック表に2日以上間隔が空いている方には日付のしるしを付けて職員はそれを周知しています。入浴が実施できない場合は足浴、清拭、衣類交換、ドライシャンプー等で対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	私の暮らし方シートに本人や家族からの情報を記録し、職員は共有しています。1日の生活の中でそれぞれの役割を見つけ、分担しながら張り合いのある生活を送っています。折り紙やぬり絵、書き取り、計算等認知症が進んでも混乱なく楽しめることを見つけて提供しています。また、地域のボランティアによる歌や踊り、大正琴などの演奏会が併設特養で行なわれる時は一緒に鑑賞して楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の食材の買出しに近くの商店街やスーパーに職員と同行します。気候の良い時は公園で体操を行い外気に触れます。外出の機会が少ない利用者も出かける工夫をしたり、車椅子で参加したりします。外食会も散歩をかねて行きます。ホームのお花見や行事の他に、家族と共にお墓参りや美容院に出かけています。民生委員から紹介された歌声喫茶にも行きます。今後担当職員と利用者がマンツーマンで外食などに出かけることを実行する予定をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームの1階は玄関室と階段で、日中も防犯に対応するために施錠しています。家族からの要望と安全確保を優先しています。帰宅願望のある利用者が外出を望まれるときには、同行して散歩するなどの配慮をしています。	○	利用者や家族、職員等で相談し、運営推進会議で意見を聞きながら、また本人の思いや身体力を活かしながら鍵をかけずに安全に過ごせる工夫を重ねていくことが求められます。まずは職員のゆとりのある時間帯から開錠してはいかがでしょうか。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として年2回の「火災時の対応方法と避難の方法」について、消防の指導があります。併設特養の職員と共に避難訓練に参加しています。スプリンクラーも設置しています。災害時の備蓄はスポーツドリンクと最小限の保存食は確保されています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し、記録しています。併設特養の管理栄養士の作成した献立を参考にして、ホーム独自のメニューを決めています。栄養バランスを考え、1日1,450kcalになる献立になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングダイニングや台所・浴室などの共用部分は、家庭的な家具や設備となっており、食卓には花が生けられていて、居心地のよい共用空間になっています。窓が大きく明るいリビング兼ダイニングルームでは、ゆったりと座れるソファに集う、利用者の会話や歌声が聞こえてきます。手作りの作品や観葉植物等を配置して寛ぎを得ることができています。ホーム内で飼っているセキセイインコの「ピーちゃん」は利用者を和ませる役目をしています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には洗面所があり、ホームが準備したベッドと洋服ダンスが設置されています。利用者はそれぞれ使い慣れた整理ダンスや鏡台、収納ケース、椅子等を持ち込んでいます。馴染みの生活用品や装飾品、手作りの作品、家族の写真、ホームでの行事や誕生日会の時などの記念写真のアルバムなどが置いてあり、居心地よく過ごせるような工夫をしています。		